



特定非営利活動法人

## 神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 330

Juni 2018

### NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館 19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

### NPO JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

## NPO 法人神戸日独協会 2018年度総会報告

会長 栞田 義一

2018年度総会が5月26日(土)にユーハイム神戸元町本店ホールにて開催されました。会長の開会挨拶の後、議事に移り、各議題の報告・審議が行われ、すべての議題が了承され、総会は終了しました。

この総会では役職交代により植松賢治氏(神戸市市長室国際部長)が新理事として承認されました。

名誉会長の橋本俊作氏(元さくら銀行相談役)よりご高齢のため名誉会長を辞したいとお申し出がありました。橋本名誉会長は1998年から2004年まで戦後再建後の第4代神戸日独会長をしていただき、協会の発展のためにご尽力をいただきました。名誉会長になられても協会主催のコンサートなどにご参加をいただいていた。橋本名誉会長のこれまで協会にいただいた多大なお力添えに心から感謝をするとともに、ますますのご健康を祈り上げます。

総会后、会場を同店地階の「Imbiss」に移して懇親会が行われました。懇親会は旧知の会員同士近況報告などをされ、ユーハイムさんのお料理とデザートを賞味しながら、皆さん終始和やかに談笑されておられました。会員の懇親を深める良い機会になったと思います。

昨年の総会報告でも申し上げましたが、近年総会及び懇親会の参加者が減少しています。また本年の総会へのご出欠のお返事も極めて少ない状態でした。正会員と準会員との間の議決権の有無にかかわらず、この法人の最高の意思決定機関である総会に来年度は是非ともご参加いただきたく、お願い申し上げます。

## 2018年度通常総会と会員懇親会を終えて

会員 清水 裕子

2018年5月26日に2018年度通常総会がユーハイム神戸元町本店の3Fホールで開催され、その後会員懇親会が開かれました。当日は楠公武者行列が5年ぶりに蘇り、湊川神社から湊川公園、ハーバーランド、元町商店街を経て神社へと絢爛豪華な一大絵巻が展開されていました。総会の始まる30分ぐらい前に元町商店街を通過していたので、御覧になった会員の方も多かったのではないのでしょうか？

総会は定刻を少し過ぎてから始まりましたが、参加された会員は2017年度の事業報告や決算報告・2018年度の事業計画や予算案について、皆さん熱心に資料を確認し、報告を聞いていらっしゃいました。今年は「県政150年記念行事」もあり、また時事ドイツ政治経済セミナーやドイツ食文化セミナーなども開催される予定ですので、みなさんとても興味があるのではないのでしょうか？

総会後の会員懇親会では、会場を地下のレストランに場所を移し、ユーハイム様の御協力でもとても美味しいお料理を頂く事が出来ました。中でも、白アスパラガスのオランダィーズソース添えには、皆さん大満足で、あっという間にお皿がキレイになってしまいました。

ワインも大変好評で、ドイツワインの会に参加していた会員には、常務理事の松田さんから、「産地についてはどうでしょう？ブドウの品種はどうでしょう？」と講座さながらのいろいろな質問があり、ワイン談義に華が咲いていました。

今年も主催行事に加え、様々な行事が予定されていますので、今から参加するのが楽しみです。

## 2018年度全国日独協会連合会総会報告

会長 柘田 義一

今年度の総会は、2018年5月20日(日)から22日(火)まで金沢市の金沢歌劇座にて開催されました。

今年は全国日独協会連合会設立30周年を記念して「日独交流国際会議」も開催され、ドイツ側からルプレヒト・フォンラン独日協会連合会会長をはじめ約80名の参加がありました。神戸日独協会からは柘田会長夫妻が出席しました。

20日夜の「しいの木迎賓館」での前夜祭に始まり、21日午前「日独交流の歴史と今後の発展」についてフォンラン独日協会連合会会長、橋本孝日独協会連合会副会長、シュテファン・グループヘッドドイツ大使館首席公使(大使代理)、フォルカー・シュタンツェル前駐日ドイツ大使の講演があり、午後には日独協会連合会総会が開かれ、2017年度決算案、2018年度予算案などが審議・承認されました。2019年度総会は新潟日独協会の主管で開催されることも決まりました。審議・承認事項の詳細及び参加協会の報告概要は協会事務室にてご覧ください。

最終日にはドイツ側参加者と日本側参加者による「これまでの交流実績の紹介とそれに基づ

く更なる交流発展」についての3つのワークショップが行われ、「金沢宣言」が採択され終了しました。

この総会にてシュタンツェル前大使が独日協会連合会会長に就任されることが紹介されました。シュタンツェル前大使には懐かしくご挨拶を致しました。

☆ ドイツ大使館よりグループヘア首席公使のご講演「持続可能な日独交流の為に」の原稿(ドイツ語原稿、日本語訳)をいただきましたので、ご希望の方は協会事務室までお申し出ください。

## ドイツ映画を見る会 Film-Matinee

ショル兄妹 Geschwister Scholl が「白バラ Die weiße Rose」と題する反ナチスのビラを配布したかどにより処刑されて、本年2月15日で75周年を迎えました。ショル兄妹と行動を共にしたミュンヘン大学生たちは現在でも、理不尽な事柄に対して市民として自己の信念や倫理観にもとづき自発的に意見表明や行動を行う「市民の勇氣 Zivilcourage」の手本と見なされています。ショル兄妹については日本でも、兄妹の姉 Inge Scholl によって戦後間もなく出版された「Die weiße Rose 白バラは散らずー ドイツの良心 ショル兄妹」などによって知られています。

逮捕後にナチスの正当性と法の支配を説き、過ちを認めて助命を求めるように勧める尋問官と、裏切り者と断罪し寄生虫として葬り去ろうとする判事との間で、自らの信念による行動の正当性を主張する21歳の女子学生ゾフィー・ショルの最後の5日間について、ドイツ統一後新しく発見された資料も参考に制作された「Sophie Scholl – Die letzten Tage 白バラの祈り ゾフィー・ショル、最後の日々」を鑑賞します。

協会の今期ドイツ語講座で「白バラ」、ショル兄妹、この映画について詳しく明解で有意義な授業をしていただいた杉谷眞佐子先生(関西大学名誉教授)にこの映画の今日的な意味—例えば、歴史から何を学び次世代へ伝えようとするか—などのポイントについて解説をしていただき、鑑賞後に参加者と感想を語り合しましょう。多くの方のご参加をお待ちしています。

映 画: Sophie Scholl – Die letzten Tage  
白バラの祈り ゾフィー・ショル、最後の日々  
(2005年、ドイツ、120分、ドイツ語+日本語字幕)

日 時: 2018年7月7日(土)14:00~16:30

場 所: 神戸日独協会会議室

定 員: 25名

申 込: 2018年7月5日(木)まで、協会事務室まで。

## 2018年度第1回ドイツ家庭料理講習会 開催のお知らせ

2012年度にスタートをいたしましたドイツ家庭料理講習会シリーズは、多くの皆様のご好評を頂いてきました。

今年度から、再びより多くの会員の皆様、またお知り合いの方々にご参加いただけるドイツ家庭料理講習会を開催したく企画いたしました。

実施予定としまして、2018年7月を第1回として隔月に、9月、11月、2019年1月、3月の計5回を予定しています。

第1回目の講習会は、ドイツ菓子のマイスターをお持ちで、ドイツに在住されておりましたラッハマン早希子さんと自宅でお料理パーティーを開くなど料理愛好家の北川玉恵さんのお二人にご指導いただきます。お二人はお料理のプロではありませんが、ドイツの伝統的な家庭料理に新しいセンスをプラスして誰にでも簡単に出来るレシピで作って頂きます。ラッハマン早希子さんと北川玉恵さんとのコンビによる、ドイツ家庭料理講習会にぜひご参加をお待ちしています。

日 時：2018年7月8日（日）13時—17時（12時45分までに集合してください）

場 所：うはらホールの料理教室（JR住吉駅すぐ南の東灘区民センター8階（078-822-8333）

料理メニュー：メイン Hähnchenfrikasse 鶏肉の煮込みライス

サイド Gurkensalat きゅうりのサラダ

デザート Zitronenkuchen レモンのケーキ

参加費：1200円（会員は1000円）と材料費

材料費の概算は、追って参加者にお知らせします。

募集人数：24名

お申し込み：参加ご希望の方は、6月29日（金）までに、神戸日独協会事務室まで、電話・FAX・メールにてお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。参加費・材料費は、当日現地でお支払いください。

☆当日、エプロン、タオル、レシピ（後日参加者に送付）と筆記用具をご持参ください。

## 西国三十三所1300年—巡礼とWanderung—

西国三十三所は、2018年に草創1300年を迎える日本最古の巡礼路で、各札所で記念の御朱印、特別展などのイベントが行われています。最近では、国外にも発信され国外の観光客も増えています。

札所のある各地の日独協会と交流しながら、日本で1300年続く文化を体験しませんか？

第1回目は、宝塚市の中山寺に行きます。兵庫県には、ラストサムライのロケ地になった書写山圓教寺も札所になっており、紅葉の頃に予定しています。

日時/Zeit: 2018年7月22日(日)14:00~15:30ごろ Sonntag 22.7. 2018 14:00~15:30  
場所/Ort: 紫雲山中山寺 (集合場所:阪急宝塚線中山観音駅北改札口)  
費用/Kosten: 拝観料なし、交通費各自  
申込/Anmeldung: 2018年7月18日(水)までに Bis Mittwoch 18. 7. 2018  
Tel: 078-230-8150 E-mail: [info@jdg-kobe.org](mailto:info@jdg-kobe.org)

## ドイツ語講座・ドイツ文化教室2018年度第Ⅱ期開講

7月9日(月)よりドイツ語講座・ドイツ文化教室の2018年度第Ⅱ期が開講します。

ドイツ語講座の「標準クラス」と「会話クラス」は、ヨーロッパで通用する「EU言語標準」としてのドイツ語の習得を目的としています。「EU言語標準」としてのドイツ語の教授経験が豊富な講師陣が講座を通じて「今のドイツ」へと誘います。夏休みにドイツ語圏への旅行を計画している方は、現地でドイツ語での会話を楽しむために、講座でドイツ語による日常会話を習得をしませんか。

「ドイツで今何が起きているのか」、「今の日本をドイツはどのように見ているのか」を知りたい方、ドイツ文学の名作をじっくりと読んでみたい方には「講読クラス」がお勧めです。

ドイツ語講座の多くのクラスは前期からの継続クラスですが、途中からの受講は可能です。各クラスの内容については、同封の案内チラシをご覧ください。

今年の暑い夏は、駅からも近く涼しい教室で「ドイツ体験」をしてみませんか。

### 「ドイツ歌曲クラス」の休止について

会長 枘田義一

2007年以来開講してきましたドイツ文化教室「ドイツ歌曲クラス」を休止します。ドイツ語で書かれた詩と旋律の美しさを味わうために黒崎勇元会長(甲南大学名誉教授)と永井和子元副会長(大阪音楽大学名誉教授)の指導によって始められた「ドイツ歌曲クラス」はこれまで多くの参加者を得て続けられてきました。参加者は教室を離れ、「クリスマス祝賀会」のみならず「神戸国際交流フェア」、「オクトーバーフェスト in 神戸」等々多くの行事に参加され、その実力を市民に披露してきました。神戸日独協会を代表する「会員サークル」として協会の諸活動にご尽力をいただけてきました。しかしながら近年神戸国際会館の環境が大きく変化し、他のテナントから音楽による音の問題についての苦情が多く生じるようになりました。協会ではこれまで国際会館とも協議を重ね、事務室の移転、教室の変更等を講じてきました。今年の5月からは外部のスタジオで授業を続けていただきました。

このような事情から協会を地盤とした「歌曲クラス」の継続は困難と判断し、誠に残念ですが「歌曲クラス」の授業を、新しい授業の場と授業形態が得られるまで、一時休止することにしました。

これまで授業をご担当いただいた末廣亜矢子先生、受講の方々に感謝を申し上げますとともに、今後とも協会の活動にご協力のほどをお願い申し上げます。

# ドイツ語談話室

## 第174回ドイツ語談話室

日時：2018年5月19日(土) 14-16時

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：農業の今日と将来

今回の司会は原田耕作氏が担当し、今日の日本は大きな農業問題を抱えている事を述べた。例えば、年々減少してゆく農業従事者数、農家の後継ぎの減少、耕作放棄地の増加、食料自給率の減少など。

今回、ドイツで永年暮らし、ドイツの製靴マイスターも取られた方が初参加されたので、自己紹介をして頂いた。その後、参加者が農業問題について意見を述べられたので、その一部を下記する。  
—日本の食料自給率は、カロリーベースでは39%で、金額ベースでは68%である。つまり日本の農家は高額なものの生産に偏っていて、安価な大豆、小麦などはほとんどを輸入に頼っている、といったいびつな状況である。

—日本の農業者数は、1965年に1115万人だったが、2015年にはわずか200万人に減少している。農業者の年齢も高齢化しており、35歳以下は僅か5%、65歳以上が60%である。

また、食料自給率が低い事は食糧安全保障上大きな問題だが、不適切な農業政策の結果だ。

—農業の企業化も進んできているが、農家の土地を保護する法律が多く、企業化・集約化を妨げている。一方、農家の人手不足が耕作放棄地の拡がりに拍車をかけている。

—ドイツでも多くの小規模農家が農業を放棄しだしている。農業生産物の価格が安いので農業を続けられなくなっている。また、日本同様、子供が農業を継がなくなっているケースがある。テレビ番組に、農家は花嫁を求めている、といったタイトルも見られる。

また、日本ではBIO作物に関心が薄いように見えるが、ドイツでは農作物の品質に関心が高く、BIO作物の人気の高い。

—遺伝子組み換え食物への危険性について注意を促したい。害虫や化学除草剤に強い植物等、将来に高いリスクを感じる。一方、耕作可能面積が少ない日本で、屋内に多段な棚式の畑を作る装置に将来も感じる。

—現在の農家は多くの農業機械を導入しており、生産性がとても上がっているのに、農業人口の減少が生産物の減少とは必ずしも比例しない。一方で、まだ食べられる食品の廃棄がとても多い事は、大きな問題である。

—農産物や牧畜に音楽を取り入れることが、品質や生産性の向上に寄与する。モーツァルトの音楽を聴かせる事で、より豊かな上質の牛乳の生産に寄与することが知られている。

—IT技術が、将来の農業生産に貢献することに期待したい。一方で、TPPによる日本農業への悪影響は心配だ。

### 今後のドイツ語談話室の予定

第175回 2018年6月16日(土) 14-16時 テーマ：世界の政治

第176回 2018年7月21日(土) 14-16時 テーマ：日本とドイツの医師の治療行為

# Deutsche Gesprächsrunde

## Protokoll der 174. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 19. Mai 2018, 14 bis 16 Uhr

Thema: Landwirtschaft, heute und morgen

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und erwähnte, dass die japanische Landwirtschaft heute mit großen Problemen zu kämpfen hat. Die Zahl der Bauern nimmt laufend ab, es herrscht großer Mangel an Nachfolgern, zunehmend mehr Ackerland wird aufgegeben, die Selbstversorgungsrate an Nahrungsmitteln sinkt.

Dieses Mal hatten wir einen neuen Teilnehmer. Er wohnte 10 Jahre in Deutschland, wo er Meister in der Schuhmacherei wurde.

Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen:

-Ein Teilnehmer erwähnte, dass die japanische Selbstversorgungsrate an Nahrungsmitteln gerechnet auf Kalorienbasis nur 39% beträgt, gerechnet nach Geldsummen jedoch 68%. Das bedeutet, dass die japanischen Bauern einseitig hauptsächlich teurere Produkte produzieren, billige Produkte wie Sojabohnen, Weizen etc. werden importiert.

-Ein anderer Teilnehmer erwähnte, dass in Japan die Zahl der Bauern 1965 etwa 11,2 Millionen betrug, 2015 waren es nur noch 2 Millionen, 60% der Bauern ist über 65 Jahre alt. Nur 5% der Bauern ist unter 35 Jahre alt. Die niedrige Selbstversorgungsrate am Nahrungsmittelsektor bedeutet ein ernstes Risiko für die Nahrungsmittelsicherheit. Es fehlt an entsprechender Landwirtschaftspolitik.

-Ein weiterer Teilnehmer denkt, dass die Mechanisierung und Industrialisierung der Landwirtschaft in Japan nur langsam voranschreitet. Viele Gesetze schützen den Besitz an Ackerland und verhindern so die Industrialisierung und intensivere Landwirtschaft. Durch den Mangel an Bauern vergrößert sich das brach liegende Ackerland.

-Eine Teilnehmerin erwähnte, dass auch in Deutschland viele kleine Bauern ihre Betriebe aufgeben, weil die Erträge für die Produkte zu niedrig sind, um die Landwirtschaft weiter zu führen. Wie in Japan wollen die Kinder oft die Betriebe der Eltern nicht mehr übernehmen. Es gibt sogar ein Fernsehprogramm mit dem Titel „Bauer sucht Frau“.

In Japan sind BIO Produkte nicht so populär wie in Deutschland.

-Ein Teilnehmer warnte vor dem Risiko der Gentechnik. Die Pflanzen werden gegenüber schädlichen Insekten und somit auch gegen Herbizide resistent gemacht, was in Zukunft große Schäden anrichten kann. Andererseits wird wohl auch die Innenraum-Produktion von Gemüse etc. in Zukunft ein wichtiger Produktionszweig sein, besonders in Japan, wo die benutzbare Ackerfläche sehr gering ist.

-Ein Teilnehmer denkt, dass in der heutigen Landwirtschaft sehr viele Maschinen zum Einsatz kommen und dass dadurch die Produktivität sehr gesteigert wurde. Weniger Bauern bedeuten deshalb nicht von vornherein, dass es auch immer weniger Agrarprodukte gibt. Ein ernsthaftes Problem ist auch, dass heutzutage große Mengen an noch essbaren Nahrungsmitteln auf dem Müll landen.

-Eine Teilnehmerin berichtete davon, dass schöne Musik angeblich zur Qualität und Produktivität beitragen kann. Eine schöne Melodie von Mozart soll zu besserer Milchproduktion führen.

-Eine Teilnehmerin sprach davon, dass zu erwarten ist, dass IT auch in der künftigen Landwirtschaft von großer Bedeutung wird. Sie befürchtet schlechte Auswirkungen des TPP Vertrags auf die japanische Landwirtschaft.

### Nächste Treffen:

Samstag 16. Juni 2018, 14 bis 16 Uhr, Thema: Weltpolitik

Samstag 21. Juli 2018, 14 bis 16 Uhr, Thema: Ärztliche Versorgung in Japan und Deutschland

## 行事参加感想文

### カトリン・ボン先生歓迎会に参加して

会員 萩原 哲

去る5月29日(火), 兵庫県と姉妹提携しているドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州キール市にあるフンボルトギムナジウム(県立兵庫国際高校の姉妹校)の生徒たちを引率され来県されているカトリン・ボン先生を、神戸日独協会にお迎えして、夕方のひと時を私達講座受講生と共に過ごし、その後、他の会員の方々も参加され、歓迎の懇親会を持ちました。

ボン先生は、将来日本の小説の翻訳家になろうと、大学で日本語を勉強されたそうです。短いひと時でしたが、私なりに印象に残ったこと、特に日本語とドイツ語の差異などをお伝えしようと思います。

まず講座において、私達は”Deutsche Welle”に掲載されているホットな話題を講読しています。テキストは、”Berlin stellt sich hinter das Iran-Abkommen”(ベルリンは、イランとの合意を支持する)で、イランとの核合意から離脱を表明したトランプ政権に対し、同じ署名国の一員として、この問題にドイツはどのように対応するか(各政党の意見も踏まえて)の文章です。この中で次のような一節がありました。”Die Europäer müssen retten, was zu retten ist.” この文章における retten の示す意味について、ボン先生から次のような説明がありました。

retten は、辞書では「救う、救助する」の意で載っていますが、同様の意味で helfen があり、その違いについて、helfen は「単に手助けする、手を貸す」との意味であって、retten には「心を込めて、心から相手を助ける」との意味が含まれているとのことでした。従って、ドイツのイランに対する対応の程度がわかります。日本語においても、同じような内容を示す言葉をいろいろな場面により使



い分けていると思いますが、そこにはそれぞれの言語活動を支えている文化、風土があると思います。私見ですが、ドイツ語の *helfen* は、自動詞で3格目的語(間接目的語)を取り、*retten* は、他動詞で4格目的語(直接目的語)を取ります。日本語の「助ける、手伝う」も「救う、救助する」も、ニュアンスの違いはあってもどちらも他動詞で用いられます。このように自動詞と他動詞と使い分けるドイツ語と、同じ他動詞を使う日本語との、言語の相違がもたらすものかもしれません。日本語で *retten* の意味を正確に表現しようと思えば、副詞が必要となるでしょう。

次に歓迎の懇親会において、同様のことが話題となり、他国の文学作品を自国の言語に翻訳することの困難さについて話されました。村上春樹の小説を例として取り上げられ、ドイツ語に翻訳された作品は、小説の内容において、村上春樹の意図するところを表現しているので間違っていないのだが、日本語の持つ曖昧さ、婉曲的な言い回しが欠けてしまっていると言われていました。ドイツ語に翻訳された方は、「ドイツ人にとって内容が十分理解できればいいのではないか。だから、日本語的表現は翻訳せず省略してもいいのでは」と言われていたそうです。ボン先生は、日本語の持つ曖昧さ、婉曲的な表現をドイツ語に翻訳したいと思っておられるようです。今は、学校で日本語教師の仕事が忙しく時間がないので、仕事を辞めたら取り組みたいとのことでした。ボン先生がどのようにドイツ語に翻訳されるのか、読んでみたいものです。楽しみにしていますよ！

他国の文化をどのように理解するか、ヘルマン・ヘッセの小説について、高橋健二先生が訳された作品は、ヘッセの主張する意味内容は十分反映されており、問題はないのですが、ドイツ語で表現された文章を、同じ内容でどのように日本語に表現し直すか、自分自身で原文を直訳してみると、やはり差異があることを感じたこと、また翻訳とは困難な作業であることもよくわかるとお話しました。文学作品を翻訳すると、原文とは異なる翻訳された言語の「違う文学作品」になってしまうのかもしれません。

(追記)

ボン先生は、下戸でビールも召し上がられませんでした。当たり前ですよ！ドイツ人みんなが呑み助ではないですよ！ビールの話から(北のビールは南より苦いそうです)、北と南の文化の違いに話が及び、北ドイツと南ドイツとでは人当りも異なるとのことでした。初対面は、北ドイツの人は愛想が悪く、とっつきにくい印象を与えるが、分かり合えばとてもフレンドリーであるとも言われていました。南ドイツはどうか聞きましたが、ボン先生の答えを皆さんで考えてみてください。日本でもいろいろな場面で、関西と関東など異なる風土、文化があり話題になりますが、そこにまた文化の多様性と面白さがあるのだとも改めて思いました。

## ドイツビアフェスト2018 (予告)

毎年好評をいただいています恒例の「ドイツビアフェスト」を今年も開催します。

日 時: 2018年7月28日(土) 18:00~20:00

場 所: ビアレストラン「ロイン」三宮店

次号にて詳しいご案内を致します。ご予約にお入れください。

今年も、ビールを飲みながら、ビアソングを歌いながら、  
楽しい夏の一夜を過ごしましょう！

## 実行委員として神戸日独協会の活動に参加しませんか

神戸日独協会の主要な年間の活動は総会及び理事会によって決定されますが、日頃の活動は実行委員及び会員によって行われています。実行委員は定款上の役職ではなく、会員のボランティアによるものです。毎月第3日曜日に実行委員会を開催し、会員の方々が希望するあるいは実行委員のアイデアによる催し物を企画し、準備し、実行しています。神戸日独協会は会員の皆様の積極的なご支援を必要としています。

次回の実行委員会は6月17日(日)15時より協会会議室にて開催しますので、奮ってご参加ください。

## 事務室からのお知らせ

### 会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の発送予定日は7月12日(木)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

## これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込×切 など
6月16日(土) 14:00~	第174回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室	当日参加可
6月17日(日) 15:00~	実行委員会	神戸日独協会 会議室	当日参加可
7月7日(土) 14:00~	ドイツ映画を見る会 Film-Matinee	神戸日独協会 会議室	7月5日(木)まで
7月8日(日) 13:00~	第1回ドイツ家庭料理講習会	うはらホールの 料理教室	6月29日(金)まで
7月22日(日) 14:00~	西国三十三所1300年 —巡礼とWanderung—	紫雲山中山寺	7月18日(水)まで